

# 「広島県建設分野の革新技术活用制度」登録技術の活用事例

様式2

技術名称：

登録事業者：

## ① 技術概要・概要図

本工法は特殊ノズルを使用し従来届かなかった  
支承の狭隘部までしっかりとブラスト施工し  
高耐久被膜を得る技術である  
従来は塗装による塗り替えだったものを  
金属溶射と常温亜鉛めっき塗装することで  
耐久性が向上しライフサイクルコストが  
削減される



## ② 設計・施工等の概要

項目	概要
年度	令和5年度
発注機関	神石高原町
事業名	道路メンテナンス事業 町道三石剣線剣橋 橋梁補修工事
対象地	神石高原町永野
工期	令和5年12月
数量	16

## ③ 活用に至った現場条件や経緯

支承周囲が狭隘な現場であり、従来工法では旧塗膜の  
除去が困難であった

## ④ 活用効果（本事例における効果）

従来は回数塗をする為施工日数が多くかかっていたが、  
本工法では1日で処理が完了する為工程が60%短縮した  
また従来は狭隘な範囲は4種ケレンにて対応していたが、  
特殊ノズルを使用することで、高い品質を確保することが  
できた

## ⑤ 活用状況写真



施工前



ブラスト完了



金属溶射完了



施工完了